

大人も遊べる新観光企画 サンカクドライブ

委員会が、アンケートから聞こえた生の声をカタチにし、生まれたのがサンカクドライブ。日帰りで楽しめる「大人も遊べる新観光企画」が続々と登場しています。

アンケート結果から 見えてきた実態

これまで、はつきりとは把握できていなかった世界文化遺産三角西港がある三角地区への観光客像。2つのアンケートを実施したことで、来訪者の実態をつかむことができ、データ化することができました。

この結果を地域内で情報共有

ち上がり、夫婦が楽しめるような体験プログラムなどの発掘や、地域の素材や技術などを生かしたメニュー開発に取り組み始めました。

春が味わえる 「ピラミッドメニュー」

イメージ調査で分かった三角西港に次ぐ知名度を誇る「海のピラミッド」。

この知名度を利用し、地元の味覚を味わってもらおうと考案したのがピラミッドメニューです。三角地区の飲食店5店舗が、平成の三角を象徴する建物「海のピラミッド」になぞらえた創作スイーツや食事メニューを開発しました。

「三角町は海を見ながら、のんびりとした時間を過ごせる」というイメージどおり、どの店舗でも海を眺めることができます。景色とごちそうで、心もお腹も満たされるひとときを過ごすことができます。それぞれの店舗が「今だけ、ここだけ」の趣向を凝らした期間限定メニューで皆さんをもてなします。

し、ターゲットを設定。期間限定の集客キャンペーンなどを実施して検証し、改善を繰り返し行っていくことで、地域に根付かせることを目的としています。

生まれたのは 「ドライブ」という提案

委員会は、今後狙うターゲットとして、熊本市居住の60代夫婦を設定しました。その中でも日帰りマイカー客に向けた企画を検討。その中から生まれたのが「サンカクドライブ」です。「三角町」と「宇土半島の形」から「サンカク」と命名。熊本市から車で1時間余りと近く、宇土半島を1周するドライブコースで、渋滞も少なく、走りやすいルート。3つの道の駅もあり、食事や買い物なども楽しめ、ふらりと海を見に行くにも、最高のドライブコースです。

そこで、地域の受け入れ体制を整えるため、ターゲットに沿った企画・実践する部会が立

地元ならではの 「体験プログラム」

イメージ調査の結果から、体験型観光は他の観光より関心度が高いことが分かりました。そこで、地域の事業者が、地域ならではの歴史、産業、ものづくりなど、地元の人たちとふれあうオリジナル体験プログラムを用意しました。

デザイン書道体験や三角東港での朝活ウォーク、世界遺産を眺めながらのチョイ船釣り、イチゴや晩柑の収穫など、宇城市をもっと好きになれるような体験を楽しむことができます。

また、思わず写真に収めたいような、ココにしかない景色も一緒に楽しんでください。

体験プログラムは、全部で20種類。詳しい内容は、道の駅などに配置されるパンフレットをご確認ください。プログラムの内容は、次のページや宇城市観光情報サイト「うきめぐり」でも紹介しています。



委員会メンバーの作戦（委員は全15人）



坂本壮一朗さん 坂本農園
農産物を使って、観光を盛り上げていきたいです。魅力発信が十分にできれば、地域に人が増え、雇用も増えると思います。地域を活性化させ、移住者も増やし、明るい未来につなげていきたいです。

黒川博隆さん (社福) 済生会
三角西港など魅力ある観光スポットが多い宇城市ですが、生活もしやすい場所です。医療機関の目線でのアプローチも取り入れ、人が集まる要素を最大限に生かせるように取り組んでいきたいです。

岡村健志さん (株)オカムラ
観光客を呼び込むことによって、地域をもっと活性化できればと思い参加しています。アンケートなどのデータを基に、観光客も事業者も住民もみんなが幸せになる仕組みを作りたいです。

植田耕清さん 宇城市商工会
アンケートによると、多くの方が三角を目的地として訪れています。回遊性を持たせ、市全体での滞在時間を長くしたいですね。データに基づき、生きた計画を立て、地域経済の活性化を図っていきます。

武山繁さん 宇城市観光物産協会
事業者が積極的に参画し企画しています。春は山や海、花が美しい季節なので、特にドライブを満喫してもらいたいです。今後も地元の人たちと協力し、ドライブを楽しめる仕掛けをしていきたいです。

宮川将人さん (有)宮川洋蘭
今までのパンフレットには載っていないような宇土半島ならではの体験やメニューを住民主体で作っていきたいです。一緒に考える仲間も増やしていきながら、未来につながる観光を目指します。